

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：草加パドラーズ

20A-05

代表者：会長 木村高明

URL :

1. 活動が必要とされた状況

綾瀬川は、昭和 50 年代後半から連続 15 年間ワーストワンが続き、現在でもワースト 5 を脱却できていない。水質汚濁や不法投棄ゴミが流れている現状に心を痛み河川の再生を願い市民有志が草加パドラーズを立ち上げ、カヌーでゴミ拾いを始めた。もう一度清流をよみがえらせ、人々に安全で親しまれる河川を目指してこの活動を続けてゆく決意である。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ①川の再生を目指し、カヌーで浮遊ゴミ回収を実施した。
 - ・平成 29 年の 1 年間 毎週水、土、日の午前中実施、実施回数 162 回。
- ②カヌーを通してスポーツ文化の普及活動を実施した。
 - ・夏休みカヌー教室 7 月 29 日、30 日の 2 日間 延べ 18 名参加
 - ・カヌー体験会 4/29 春のこどもフェスタ 180 名 5/28 比企こどもまつり 70 名
7/1 草加ゆめまつり 57 名 9/23 草加青年会議所ユース 23 名
- ③行政や環境団体との連携
 - ・獨協大学伝右川再生プロジェクトとの合同ゴミ拾い活動 3/31 6/3 11/4 延べ 50 名
 - ・川口市「綾瀬川を愛する会」とのゴミ拾い・交流 4/29 延べ 30 名参加
 - ・越谷市「綾瀬川をきれいにする会」との合同ゴミ拾い 4/15 延べ 60 名参加

3. 活動の成果

- ①回収ゴミ 678 袋(45ℓビニール袋) ゴミ拾い参加者人数延べ 911 名
- ②カヌー教室 1 回、カヌー体験会 4 回、参加者人数延べ 330 名
- ③川口市、越谷市の環境団体や獨協大学との連携で、河川の美化活動が活発にできた。
- ④啓発冊子、DVD を作成し、近隣小中学校などの環境学習に利用してもらった。



4. 今後に残された課題

- ①会員が増えてきたので、活動資材などが不足気味である。また、継続して啓発用冊子、DVD を制作する予算確保が必要で補助金などを申請し確保していきたい。
- ②国・県・市とゴミの処理や相互の役割分担、提出書類、鍵の貸出、船着場の設置など連携がまだ不十分なので今後も継続して話し合い解決していきたい。
- ③平成 29 年度彩の国埼玉環境大賞「優秀賞」受賞。引き続き河川再生に努力したい。